



# 校長室だより



第24号 平成30年10月11日(木)  
聖心ウルスラ学園聡明中学校・高等部

## 【 来週から中間テストが始まります 】

この時期、中学1年生にとっては、入学してからの1年の折り返し点、高校3年生は残り半年となりました。

他の学年も一年の中間となり、今までの自分の振る舞いを見直す良い時期となりました。

さあ、中間テストが目前に迫っていますが、計画的にテストへの準備を進めていますか？

具体的な対策は、以下のとおりです。

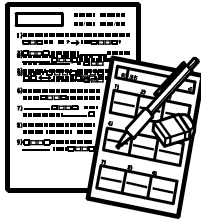
まず、1週間前は、基礎編として教科書やノートを使っての総復習を行います。

次に、応用編としてワークや問題集を使い、問題を解きながら覚えます。

前日は、最終確認として、次の日の教科しほり、あやふやな所、間違っ問題をチェックしながら覚えたところの確認をします。

最後に、自分の計画と返してもらった答案を比較し反省へとつなげるという流れです。

是非、万全の体制で乗り切ってください。



## 【 後期役員任命式と生徒総会 】



先週金曜日、後期役員任命式を行いました。

その後の生徒総会では、議長を難波江涉くん(S5)、副議長に吉村真央くん(S5)、書記に内田ふらのさん(S4)のもと、前期の活動報告と後期専門委員会の目標、会計報告、全体討議が行われました。後期目標の達成に向け、自主・自立の精神で頑張ってください。

各専門委員会の後期目標	
中央	ハウレンソウ(報告、連絡、相談)
生活・美化	・ロッカー整理や机上の整理など教室の使い方を見直す ・無言清掃を徹底する
学習	学習に集中できる環境を作る
カトリック	・チャイルドファンドのサポーターであることを自覚し、責任感を高める ・クリスマスの集へ、クラス全員で取り組む

## 【 家庭教育20の提言 】

その16 親は、祖先を敬い、祈りのある生活をしましょう

昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように急に秋の気配を感じる今日この頃です。

さて、私たちの身体は、約60兆個という膨大な数の細胞から成り立っており、その一つの構造はまったく同じです。同じ構造の細胞が、髪の毛になり、爪になり、心臓になります。卵子と精子が巡り会い、たった一個の受精卵から、複雑な構造のヒトの誕生です。

しかも今、自分がここに存在するためには、鎌倉時代の初めごろには1億人を超える先祖が存在する計算になります。先祖の誰か一人が欠けても自分は誕生しないことになります。

親や祖先を通していただいた不思議な命、生かされて生きること感謝しなければなりません。

そうすると、祖先を敬い祀る姿は、子どもの人格形成に大変大事な要素となります。

つまり、子どもを墓参りに連れて行くことは、先祖を敬う気持ちを通して、人を大切に育てることに繋がるからです。

また、遠くはるかな祖先を考えることは、自分の子孫を考えることになり、その連続の中に自分を深く考える基盤になります。

過去から未来への生命の連続の中に、現在を考える力を付与された子どもは、苦境の中に無力感におそわれ、孤独と絶望の深淵に苦しむ状況にあっても、やがてそれを乗り越えていく力を持つことでしょう。

人間の力の及ばない目に見えない、大きなものの存在を感じさせることは、計り知れない財産を子どもの心に残すことになります。

霊を信じる信じないは別にして、祖先に手を合わせる親の姿こそ、後ろ姿の教育といえるのではないのでしょうか。

## 【 今後の主な行事 】

月日	行事内容
10/13・14	現代アート展(緑苑キャンパス)
10/15~17	中間試験
10/17(水)	芸術鑑賞教室
10/19(金)	第2回漢字検定